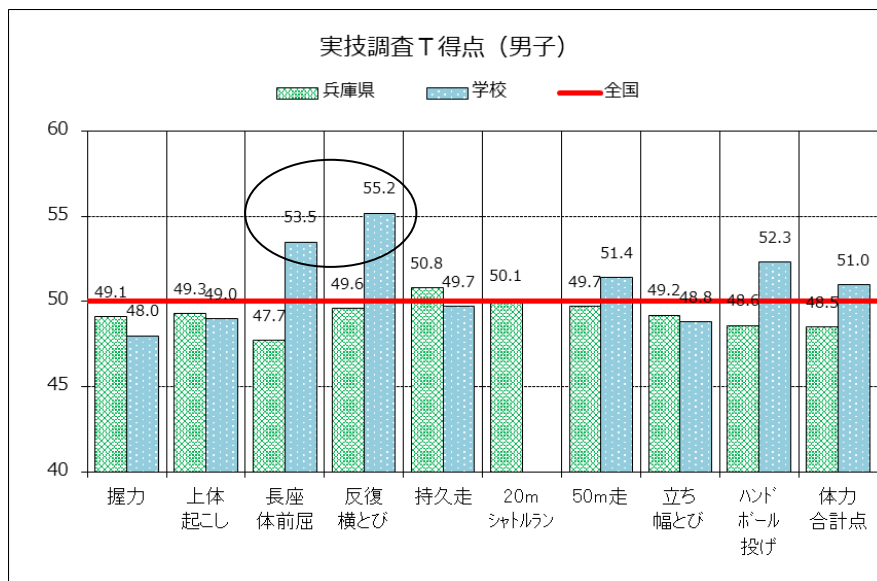


校訓	盡己	令和5年度学校通信 「松中だより」 第27号	発行日	令和6年1月15日
教育目標	未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成 ～地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して～		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己

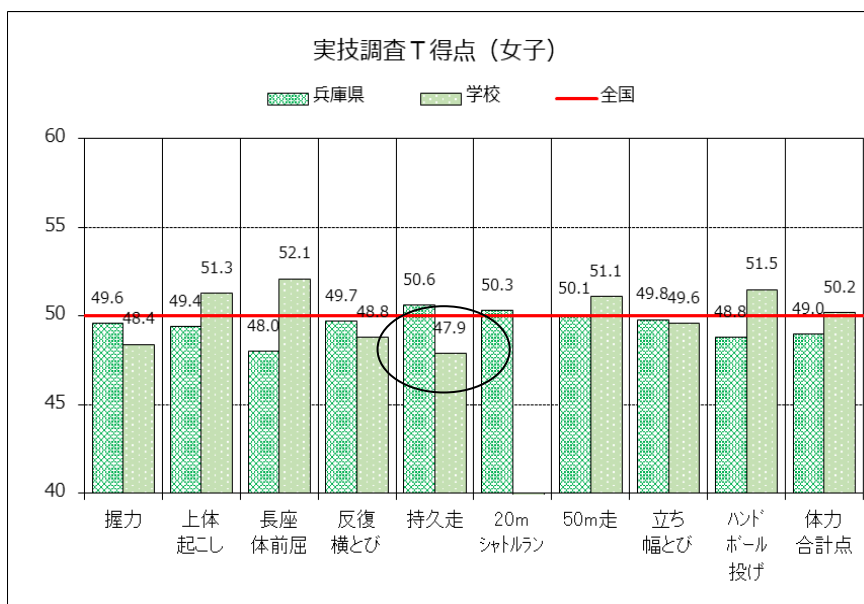
【松中生の体力 令和5年度全国体力・運動能力、運動週間等調査】

この調査は、全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析し、国や教育委員会が、子供の体力・運動能力の向上に係る施策等の成果と課題を検証し、その改善を図ることや、学校が体育・保健体育の授業等の充実・改善に役立てる取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的としています。毎年5月～7月に中学校2年生（小学校は5年生）を対象に行われています。今月、スポーツ庁から調査結果が送られてきましたのでお伝えいたします。

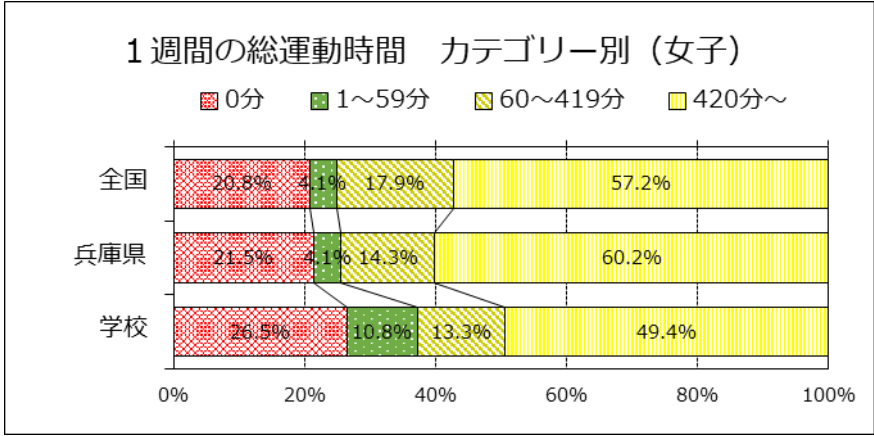
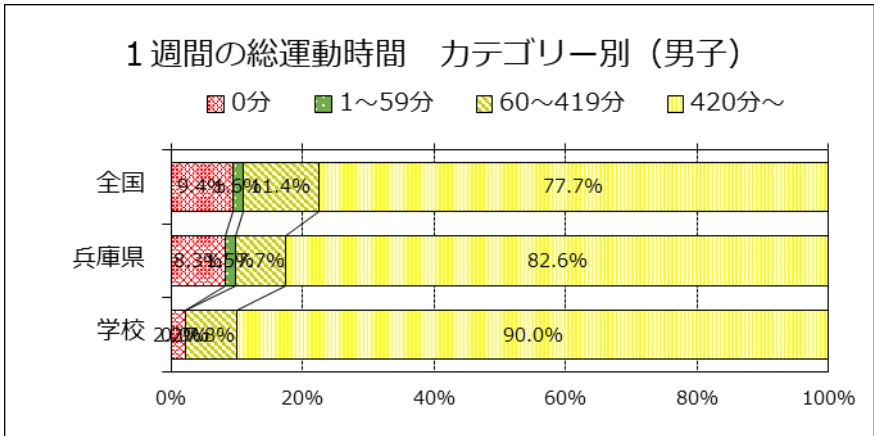


各種目で全国平均を50として兵庫県、松崎中の結果をグラフに表しています。

体力合計点では全国平均を50としたとき、松崎中男子は51.0女子は50.2でした。



男子は、すばやさ、からだの柔らかさが全国より3.5～5ポイント上回っていました。女子は持久走など、運動を持続する能力（ねばり強さ）に課題があります。



次に、1週間の総運動時間(体育の授業を除く)ですが、男子は420分以上(1日平均60分以上)が90%を占めているのに対して、女子は60分未満の生徒が47.3%と全国よりやや高めになっています。

何をするにも、健康や体力はその土台となります。今後、生涯にわたって主体的に運動やスポーツに取り組むよう、授業を工夫したいと思います。

【学ぶことの尊さ、普通に学べることのありがたさ】

『輪島の中学生集団避難、200人超希望...100キロ南の施設に最長2か月予定』

能登半島地震で大きな被害を受けた石川県輪島市が検討している市立中学校3校の全生徒約400人の集団避難で、希望者が200人以上いることがわかった。準備が整い次第、生徒は保護者から離れ、約100キロ南の白山市にある県立施設2か所へ移動する。期間は3月までの最長2か月ほどを予定している。輪島市教育委員会によると、3校全てが避難所となっており、校舎内での授業は困難になっている。避難先は「白山ろく少年自然の家」と「白山青年の家」で、教職員も同行する。授業は施設内で行うか、周辺の中学に通うか検討している。輪島市の小川正教育長は「生徒の学びと生活の場の確保を考えた」と説明。市内に残る生徒の学習方法も別途検討中という。小学生約700人については親元を離れることによる心理的負担が大きいと、集団避難を見送った。

(読売新聞オンライン 2024/1/13)

能登半島地震では多くの方が被災し、今なお避難所等で不便な生活が続いています。輪島市では中学生の学びを確保するため、上記の取組がなされます。



住み慣れたふるさとを離れ、保護者の方や兄弟姉妹とも別々の生活になっても、なんとか中学生の学びの場を確保しようとする関係者の方や保護者の方の思いに胸を打たれます。また、毎日あたり前に学校に来ていること、友だちと会い、勉強や部活ができることのありがたさを感じます。一日も早い復興をお祈りしたいと思います。